

平成28年度
事業報告書

社会福祉法人 みんなでいきる

1. 法人の現況

1-1 平成 28 年度総括

中小企業を中心とした担い手不足が深刻の昨今、当法人においても人員不足により平成 27 年 6 月に開所した特別養護老人ホームサンクスレルヒの森が当初満床予定を大幅に遅れ平成 27 年度決算状況は大変厳しいものとなりました。職員個々の努力などにより平成 28 年 4 月に 100 床が満床となり、経営状況は一定の安定した一年となりました。各拠点において収入目標はほぼ達成したのですが、一方で収支状況については職員の入替り等もあり、職員の採用・スイッチコストが増加し当初予算を下回る結果となりました。

サンクス柿崎ショートステイにおいて、平成 27 年度空床利用型の障害ショートステイを開設いたしました。平成 28 年度は軌道に乗せる年度と捉え高齢福祉事業部と障害福祉事業部が協働し、利用者情報の共有・職員研修の実施等進め 1 日当たり 2～3 名の利用がある状況となってきました。「みんなでいきる」の理念であります「世代と環境の違いを超えて、お互いが支え合い、誰もが自分らしく生きる持続可能な社会の実現を目指す」を体現するシンボル施設として更なる融合を進めてまいります。

平成 27 年度法人合併 1 周年事業として開催いたしました「アール・ブリュット展」ですが、平成 28 年度においても第 2 回ということで開催し大勢の市民より来場いただき好評を博しました。更に、新潟県においての普及啓発を目的としたアールブリュットサポートセンター（通称 NASC）を立ち上げ、厚生労働省のモデル事業の採択を受け、人材の養成・県内施設の作品発掘等に取組みました。新聞やテレビなどメディアでも大きく取り上げられ、新潟県内においての一定の役割を担う存在となりました。

平成 29 年 4 月の指定管理がスタートします、児童養護施設若竹寮について設置団体であります上越市との共同養育を 1 年間実施いたしました。法人職員を上越市へ出向し、児童の状況や運営等の引継ぎを行いました。全国的な児童養護施設の問題でもあります専門的なケアが必要な児童もあり、平成 29 年度より法人内で培ったノウハウを活かし児童が過ごし易い環境を整えていきます。

最後に、法人の最大の財産は人財です。働きやすい環境・長く勤められる環境を整備し、結果として利用者サービスの向上・福祉がつくる地域づくりを平成 29 年度も押し進めてまいります。

以 上

2. 平成 28 年度事業方針の取組について

2-1 「部門別予算」の達成

(単位：千円)

拠点名	事業収入		達成率	事業損益		達成率
	当初予算	決算額		当初予算	決算額	
サンクス米山	540,197	540,051	99.9%	52,498	46,064	87.7%
サンクス柿崎	200,802	196,072	97.6%	12,303	3,340	27.1%
サンクスレルヒの森	448,377	474,576	105.8%	28,918	46,560	161.0%
りとるらいふ	193,616	207,655	107.2%	16,308	11,409	69.9%

2-2 児童福祉事業への本格参入

児童養護施設若竹寮の指定管理が平成 29 年度より開始されるに当たり、平成 28 年度は下記職員を出向させ、上越市職員より引継ぎを実施した。

異 動 日	人 数	摘 要
平成 28 年 4 月	9 人	養育、調理職員
平成 28 年 8 月	1 人	育児休業
平成 28 年 11 月	1 人	退職
平成 29 年 2 月	3 人	新規採用
平成 29 年 3 月	2 人	内部異動（施設長、栄養士）
計	12 人	

平成 29 年度は上記職員を含む職員数 35 名（指定管理要綱上必要数 33 名）体制としてスタートした。

2-3 障害者芸術活動の推進

(1) 「アール・ブリュット展 in 上越 2」の開催

目 的 障害のある方の芸術文化活動のすばらしさ、可能性を広く一般市民に普及啓発するために、全国の障害のある方の表現作品を展示する企画展を開催し、障害があってもその可能性を發揮し、自分らしく生きていくことを支える社会になることを目的とする。

開催期間 平成 28 年 7 月 23 日～平成 28 年 8 月 14 日（延 23 日間）

開催場所 あすとぴあ高田ギャラリーミュージゼ雪小町（上越市本町 5 丁目）

来場者数 2,029 名 （前回 2,187 名）

募金額 89,092 円 （前回 124,310 円）

(2) 厚生労働省「障害者芸術活動支援モデル事業」の受託及び運営

新潟県アールブリュットサポートセンター（通称 NASC）を立ち上げ
モデル事業の採択団体 10 団体のひとつとして採択を受ける

主な活動内容

人材育成研修事業（3 回開催）

権利関係研修事業（2 回開催）

発掘発信事業

アール・ブリュット展 in 上越 2

新発田アール・ブリュット展 2016（（福）のぞみの家福祉会主催）

障がい・アート・ミーティング（全 5 回）

アール・ブリュット展 in 長岡

平成 28 年 11 月 19 日、20 日 会場：アオーレ長岡

来場者数 840 名

協力委員会の設置・開催（3 回開催）

委員：県庁職員（障害、文化）、美術関係者、美術館学芸員

弁護士、県内福祉団体

2-4 地方創生への取り組み

(1) 企業向け「職場の発達障害研修事業」の開催

目的：人口減少の局面において多様な人々を受入れ、その能力を十分に発揮してもらう事が企業には重要な事。今まで福祉サービスにおいて培った知識・経験を活かし、日頃社員対応をしている企業関係者に上越という地方都市に来ていただき、アタマとココロとカラダに「学びとリフレッシュ」を取り込んでもらうセミナーを企画。

セミナー名：「あれ？」と思う社員・職員の対応セミナー in 上越

日時：平成 28 年 11 月 7～9 日 3 日間

参加者数：県外 4 名、市外 1 名、市内 20 名

カリキュラム内容

今、職場で何が起きているのか？

職場で使える「引き出し」を増やしましょう

支える人のためのウェルネスあなたのストレスマネジメント

リラクゼーションプログラム（座禅、高田警女の話の聞く）

2-5 高齢福祉事業と障害・児童福祉事業の更なる融合

事業部間職員異動実績

平成 28 年度異動者 4 名 (りとるらいふ	サンクス柿崎)
(サンクスレルヒの森	りとるらいふ)
(サンクス柿崎	若 竹 寮)
(サンクスレルヒの森	若 竹 寮)
サンクス柿崎障害ショート立上に伴う実地研修	看護師 1 名
(サンクス柿崎	りとるらいふ)

2-6 「働きがいのある職場への実現」への取り組みを実施

スキルアップをサポートする

「資格取得の費用補助制度」「資格取得者発表」の実行

補助額：合格時に 3 万円支給（1 資格毎に支給）

国家試験合格者の発表（4 月新規資格登録者：10 名）

対象資格：介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員
管理栄養士、保育士

キャリアアップ・自己実現をサポートする「職場異動の自己申告制度」の実行

原則として同一職場での勤続年数 3 年以上に達した職員

次世代を担う「若手・女性職員の積極的な管理者」への登用

若手 10 名の昇格昇給人事、法人初の女性施設長の誕生（3 月）

女性管理職（係長以上）比率 34%（女性 11/32 名）

ワーク・ライフ・バランス支援のための見える化構築

ストレスチェック実施と施設別フォローの実施（8 月）

勤怠管理システム（IC カード）導入による残業管理体制確立及び、残業時間の申告制廃止（退勤時間 = 残業時間）

各種規程改定等による処遇改善の実施

退職金規程改定に伴う退職金構成の見える化（4 月）

特別休暇（慶弔休暇）の適用範囲拡大（10 月）

慶弔見舞金の適用範囲拡大及び金額 UP（10 月）

福利厚生倶楽部「リロクラブ」加入による生活コスト低減（10 月）

2-7 優秀な人材確保に向けた採用活動への取り組み。

平成 29 年度新卒採用者数

最終学歴	採用数	配属部署	
大学卒	8人	高齢福祉事業部	5人
短大卒	3人	障害福祉事業部	5人
高卒	3人	児童福祉事業部	4人
計	14人	14人	

上記採用者数の内

県外大・短大卒数（6人） 上越市外出身者数（4人）
 福祉系大卒（8人） 福祉系短大卒（3人）

3. 法人の概要

3-1 事業所の概要

事業部	事業所名	サービス名	定員	管理者	開設年月
高齢福祉 事業部 「サンクス」	介護老人保健施設 サンクス米山	介護老人保健施設 通所リハビリテーション	100名 30名	原田 雷太郎	H15.9
	サンクス柿崎	短期入所生活介護 通所介護 居宅介護支援	40名 20名	太田 邦夫	H25.4
	特別養護老人ホーム サンクスレルヒの森	指介護老人福祉施設	100名	片山 浩之	H27.6
障害福祉 事業部 「りとるらいる」	りとるの家	生活介護「きら」 特定計画相談支援「らく」 障害児相談支援「らく」	20名	江部 健幸	H22.4
	りとるの家はなれ	放課後等デイサービス「ららん」 短期入所「ぷあん」 上越市安心生活支援事業 （コールセンター）	10名 4名	金子 友紀 丸田 明久	H24.5
	にこ	放課後等デイサービス「にこ」	10名	金子 友紀	H27.6
	しゃぼん玉クラブ	高田西小学校放課後児童クラブ	75名	金子 友紀	
児童福祉 事業部	児童養護施設 若竹寮	児童養護施設 （平成 28 年度上越市と共同養育）	56名		H29.4 開始

3-2 施設職員数の推移

拠点名	年度	平成 26 年度末	平成 27 年度末	平成 28 年度末	増 減
サンクス米山	正	71 人	70 人	65 人	5 人
	他	29 人	27 人	34 人	7 人
	計	100 人	97 人	99 人	2 人
サンクス柿崎	正	31 人	29 人	29 人	0 人
	他	14 人	12 人	17 人	5 人
	計	45 人	41 人	46 人	5 人
サンクスレルヒの森	正	7 人	54 人	53 人	1 人
	他	0 人	19 人	24 人	5 人
	計	7 人	73 人	77 人	4 人
りとるらいふ	正	23 人	21 人	25 人	4 人
	他	22 人	34 人	36 人	2 人
	計	45 人	55 人	61 人	6 人
若竹寮	正			12 人	12 人
法人本部	正	6 人	7 人	9 人	2 人
総 計		203 人	273 人	304 人	31 人

正 正職員 他 契約職員・パート・アルバイト

3-3 財産債務及び損益の状況の推移

(1) 財産債務の推移

(単位：千円)

事業年度 項目	平成 26 年度 H27.3.31 現在	平成 27 年度 H28.3.31 現在	平成 28 年度 H29.3.31 現在	増 減
流動資産	550,786	457,442	481,122	23,680
固定資産				
基本財産	1,229,517	2,464,651	2,378,641	86,010
その他の固定資産	790,908	228,133	219,013	9,120
資産の部 計	2,571,212	3,150,226	3,078,777	71,449
流動負債	134,063	229,705	282,482	52,777
固定負債	1,832,291	2,136,065	1,986,892	149,173
負債の部 計	1,966,354	2,365,771	2,269,374	96,397
純資産の部 計	604,858	784,455	809,402	24,947

(2) 損益の推移

事業年度 項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	増 減
サービス活動収益	933,707	1,161,388	1,452,648	291,260
人件費	555,072	810,430	879,473	69,043
事業費	140,198	155,957	162,510	6,553
事務費	142,562	216,236	237,777	21,541
減価償却費	46,975	88,766	97,357	8,591
その他	5,326	8,606	9,419	813
サービス活動費用	890,134	1,279,997	1,386,537	106,540
サービス活動増減差額	43,572	118,609	66,110	184,719
サービス活動外収益	1,813	3,250	4,494	1,244
サービス活動外費用	14,823	20,043	18,353	1,690
当期活動増減差額	30,563	135,401	52,251	187,652

3-4 会議の開催状況

(1) 理事会（定数 9 人）

回数	開催年月日	出席理事数
第 1 回	平成 28 年 5 月 23 日	8 名
第 2 回	平成 28 年 7 月 25 日	7 名
第 3 回	平成 28 年 11 月 14 日	8 名
第 4 回	平成 29 年 1 月 30 日	7 名
第 5 回	平成 29 年 3 月 30 日	8 名

(2) 評議員会（定数 19 人）

回数	開催年月日	出席評議員数
第 1 回	平成 28 年 5 月 23 日	15 名
第 2 回	平成 28 年 7 月 25 日	15 名
第 3 回	平成 28 年 11 月 14 日	16 名
第 4 回	平成 29 年 1 月 30 日	17 名
第 5 回	平成 29 年 3 月 30 日	16 名

3-5 監査の状況

(1) 法人監事による監査

実施日時：平成 28 年 5 月 12 日

場 所：法人本部

監査項目：会議開催状況、決算、資産・負債残高照合

監査所見：特になし